

# Welcome To 幸田町

～ カンボジア青年招へい事業を行いました ～

## 目的

明日のカンボジアの人づくりおよび国づくり、また日本とカンボジアとの友好の推進に意欲的に取り組んでいくカンボジア青年を町へ迎え入れ、研修や交流などを行うことで相互理解を深める。

8月31日(日)から9月13日(土)までの2週間、**愛知県フレンドシップ継承事業**の一つとして、カンボジア青年5人を幸田町へ招いて、研修や視察、さまざまな交流などを行いました。

※**愛知県フレンドシップ継承事業**とは・・・愛知万博における「二市町村一國フレンドシップ事業」を継承・発展させ、地域の新しい魅力の創造につなげていくため、愛知県が平成19年度に「フレンドシップ継承交付金制度」を新設し、フレンドシップ相手国との交流を始め、県内市町村の国際交流の取り組みを支援していく事業。

未来あるカンボジアからやってきたのは、19歳から26歳までの男女合わせて5人の好青年たちでした。



ボラキーさん



ナリンさん



ボラヴットさん

それでは、2週間の中身をのぞいてみましょう。



ボリーさん

ちなみに・・・幸田町では愛知万博において、カンボジア王国をフレンドシップ相手国として、「二市町村一國フレンドシップ事業」に取り組みました。



ソモンニーさん

★議会傍聴を行い、地方自治体の議会の雰囲気を感じました・・・神秘的な面持ちで見入っていました。

★菱池保育園を訪問し、元気な園児とふれあい、明るい園長先生と保育などについて語り合いました。

★幸田浄水場を見学し、町民のライフラインである水道の管理方法などを学びました。

★中央児童クラブを訪問し、元気な子どもたちと折り紙などをして一緒に遊びました。

★消防署を見学し、町民の命と生活を守る消防、救急について、署長さんの話を聞きました。また、消火器の使い方にも体験しました。

★中部保全ECOプラザを訪問し、町のごみ処理施設の見学とごみの分別、ゆくえなどを勉強しました。

★ハッピーネス・ヒル・幸田を見学し、途中で抹茶接待を受けて甘いおまんじゅう



と苦しい抹茶をこちそうになり、伝統的な日本文化にふれることができました。・・緊張した面持ちでした。

★日本を代表する自動車産業のトヨタ自動車やデンソー関連企業を訪問し、最先端の技術産業を見学しました。

★東京や京都を見学し、超高層ビル街や人の多さに驚き、古都京都の美しさに魅かれました。



★伝統技術である三河仏壇の世界にもふれました。



★ホストファミリーの人たちとぶどう狩りをして、おいしいぶどうを食べることができました。・・ホストファミリーの方々とご対面。期待と不安でいっぱいでした。

★日本の教育の現状について講義を受け、荻谷小学校、幸田中学校、幸田高校を訪問しました。荻谷小学校では、全校生徒による歓迎を受け、授業でおにぎりを作ったり、書道をしたりして子どもたちと楽しく交流できました。幸田中学校では、授業を見学し、体育祭の迫力ある練習を見ました。幸田高校では部活動を見学しました。特に弓道部の練習風景が目に焼きつきました。

★豊橋技科大や名古屋大学を訪れ、日本の大学の雰囲気味わい、カンボジア留学生と交流を深め、日本での生活についていろいろ聞くことができました。



★上智大学やJICA中部を訪問し、日本の国際協力などの貴重な話を聞くことができました。

★期待と不安の中、ホームステイを2泊経験し、ホストファミリーの方々に親切にしてもらい、とても楽しく

過ごすことができました。日本の生活を垣間見ることができました。・・日本の家庭料理もおいしかったです。

★歓迎会や歓迎会で町民の方やホストファミリーの方々と楽しいひとときを過ごしました。



9月7日(日)と8日(月)の2泊ホームステイを行いました。日本に来た時からホームステイをとても楽しみにしていました。

【ホストファミリーの方々の声】  
☆素晴らしい青年ばかりだった。2泊だったけど家族みんなとっても楽しかった。

☆とってもまじめで勉強熱心な青年たちだった。

☆礼儀正しくて、考え方が前向きな青年たちだった。

☆家族思いのいい青年ばかりだった。



そして、カンボジア青年たちは、こんなことを思いました。

●カンボジアの若者にとって、日本を訪れることは最高の機会です。とても勉強になりました。

●日本は工業が発展した国だけど、同時に環境への配慮もすばらしい。

●みんなとても親切で、よくしてくれました。とてもうれしかった。

●慣れないこともあって少々疲れた。来年もカンボジアの若者たちに、このような日本を勉強するチャンスがあってほしい。

●みなさん、ありがとうございました。

最後に・・今回の事業が、カンボジアと幸田町との友好の架け橋となり今後さらに友好が深まっていくことと思います。



問合せ 企画政策課情報G

(内線343)